

標 題： Adherence to the Mediterranean diet and gastric cancer risk in Italy.
イタリアにおける地中海食事の順守と胃がんのリスク

著 者： D. Praud, et al. (イタリア IRCCS-マリオネグリ薬理研究所 疫学部)

掲 載 誌： Int. J. Cancer. 2014 Jun 15; 134(12): 2935-2941

要 旨：

我々は、イタリアで1985年と2007年の間に実施され、組織学的に確認された胃がんの発症例999件および急性の非腫瘍疾患で入院した対照例2,628件による症例-対照研究2件からのデータを使用して、地中海食事の順守との関連で胃がんのリスクを調査した。

全体のデータセット中で地中海食事の主な特徴9個に基づく地中海食事スコア(MDS)を使用して、地中海食事の順守を評価した。

地中海食事パターン順守指数(MDP)および地中海妥当性指数(MAI)を、2番目の研究でだけ考慮した。

胃がんのオッズ比(OR)および対応する95%信頼区間(CI)を、3種類のスコアについて多重ロジスティックス回帰モデルを使用して、我々は推計した。

地中海食事スコア(MDS)の数値上昇による胃がんリスクの低下を、我々は見出した：MDS最低区分の被験者と比較してそれに続くMDSの値でオッズ比(OR)は0.78、0.61および0.57であり、リスクに有意な傾向があった。

リスク推計は、年齢、性別、教育、喫煙、BMI、および胃がんの家族歴の階層にわたって一致した。

MDPおよびMAIの最高対最低(5段階)で、それぞれ0.58および0.71のORで胃がんリスクの低下を、我々は観察した。

胃がんに対する地中海食事の有益な役割の説得力のある証拠を、我々の研究が提供する。

キーワード： 地中海食事、症例-対照、胃がん、危険因子

©著作権 2013年 UICC (国際対がん連合)
